

一般平面図

S=1:1,500



凡例

新設配水管	計画汚水管
既設配水管	NTT

水道単独工事区間

配管詳細図9

配管詳細図8

配管詳細図7

配管詳細図6

配管詳細図5

配管詳細図4

配管詳細図3

配管詳細図2

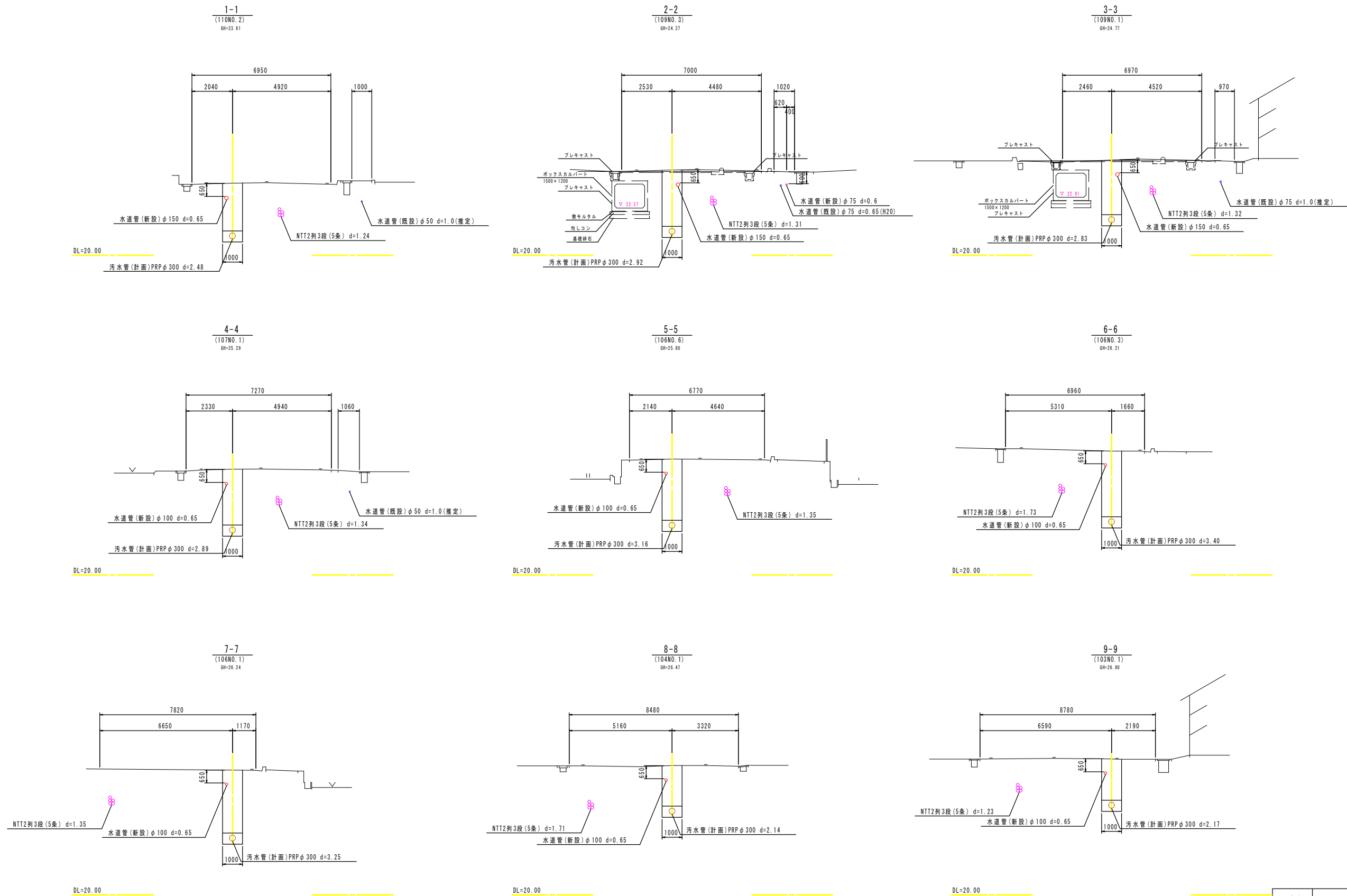
配管詳細図1

対象図面	HPPEφ150	GX.DIPφ150	HPPEφ100	HPPEφ75	H1VPφ75	HPPEφ50	合計
配管詳細図1	154.7	4.5		11.7			170.9
配管詳細図2	24.7		89.7	0.8	1.5		116.7
配管詳細図3			125.4				125.4
配管詳細図4			100.2	1.2		9.8	111.2
配管詳細図5			119.5			11.4	130.9
配管詳細図6			90.9				90.9
配管詳細図7			101.5				101.5
配管詳細図8			128.5			3.4	131.9
配管詳細図9			138.0	49.7			187.7
合計	179.4	4.5	893.7	63.4	1.5	24.6	1167.1

※下記の計画図面を基に本設計を行っているため、施工の際は計画と相違ないか確認を行うこと。
・水公第04002号 野市処理区大谷地区汚水管渠詳細設計委託業務

工事名	上水第08028号 大谷地区下水道事業に伴う配水管布設替工事		
図面名	一般平面図		
作成年月日			
縮尺	1:1,500	図面番号	2 / 7
会社名			
事業者名	香南市上下水道課		

横断図(1)
S=1:100



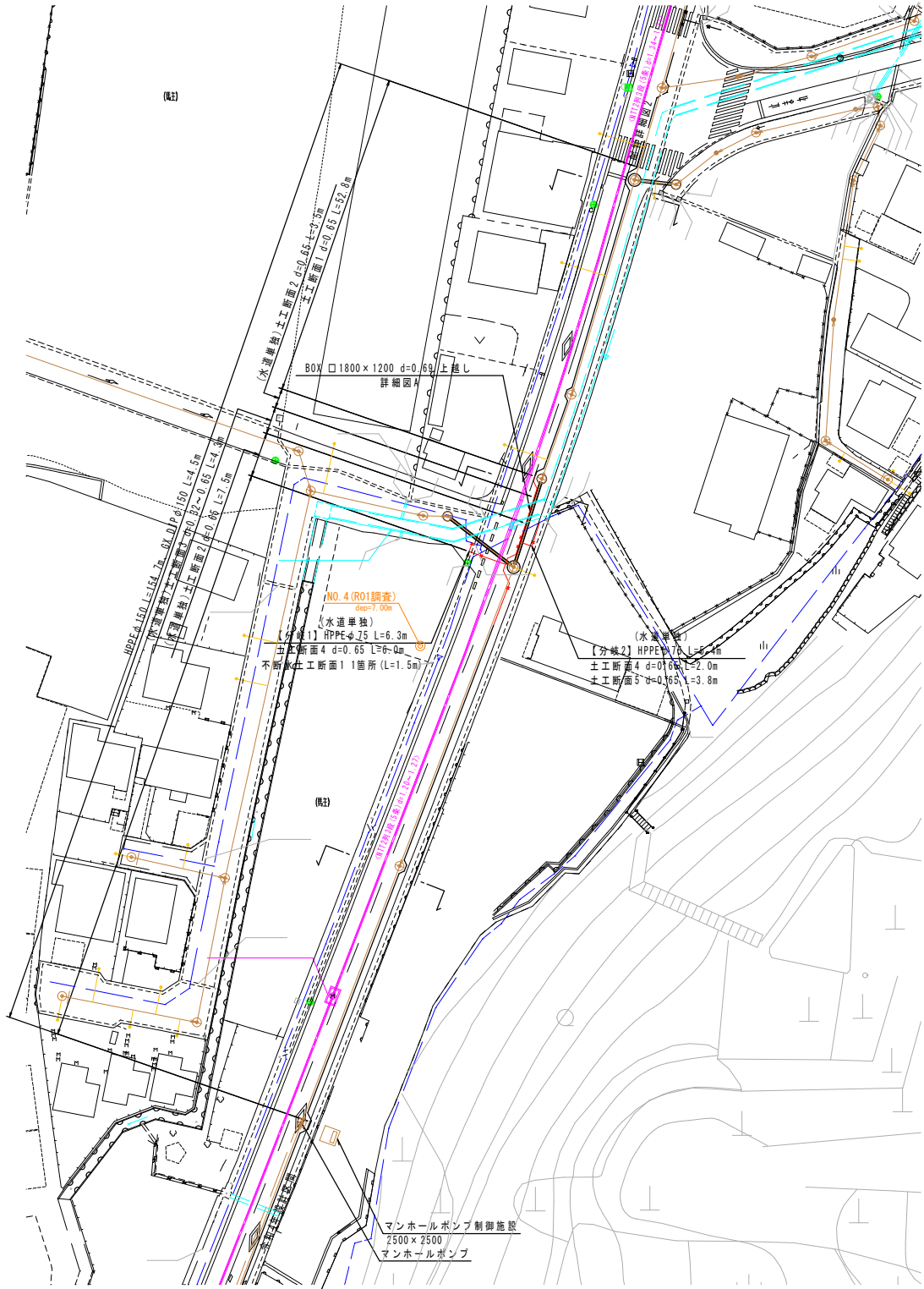
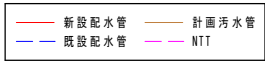
工事名	上水第08028号 大谷地区下水道事業に伴う配水管布設替工事		
図面名	横断図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	3 / 7
会社名			
事業者名	香南市上下水道課		

S=NON

Diagram illustrating a horizontal line with a red wavy line below it, representing a path or boundary. A label '障害物' (Obstacle) is positioned above the line, indicating a point of interest or a feature on the path.

S=1 : 500

凡例

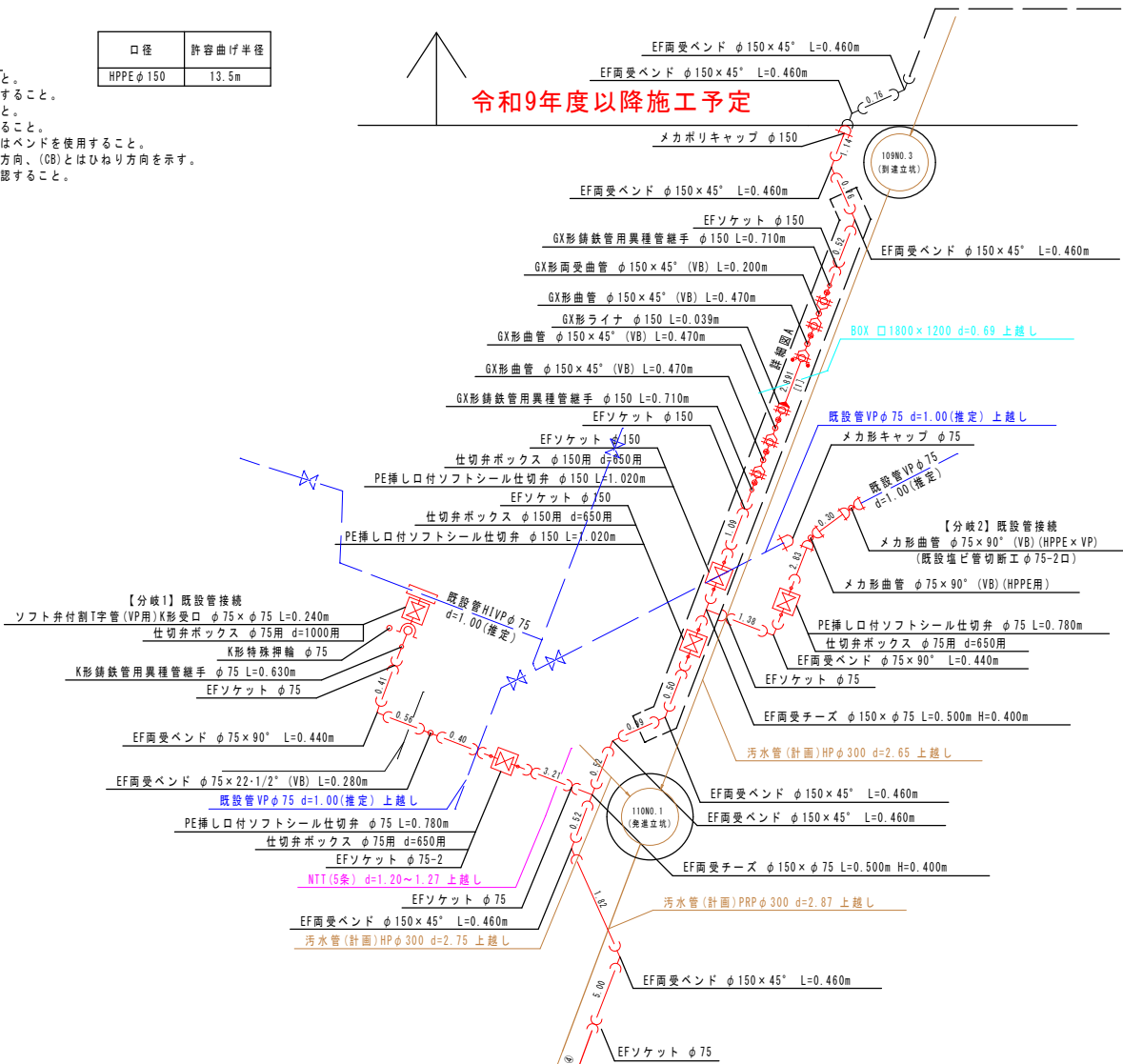


※管種は、水道配水用ポリエチレン管(HPPE)を使用すること。

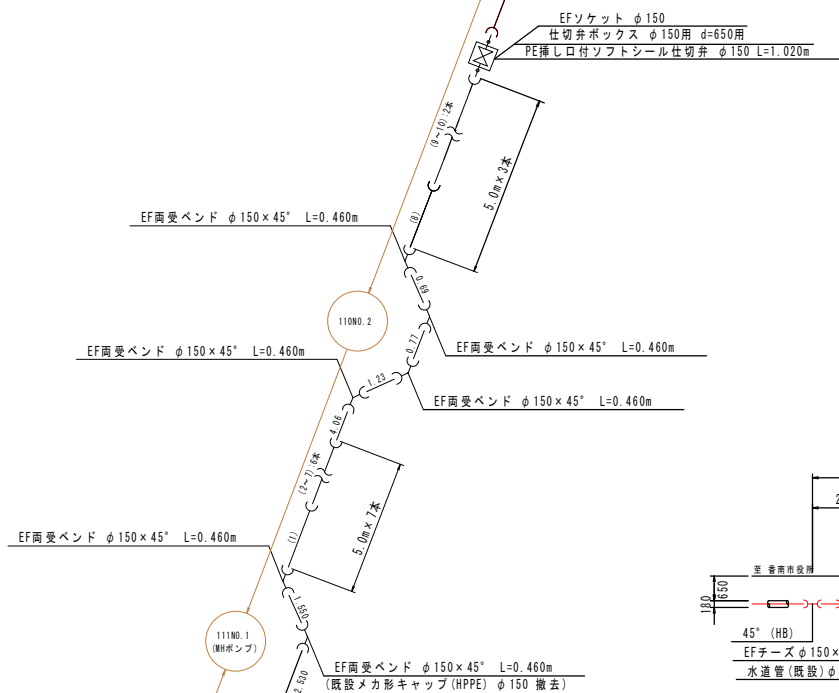
※ 管種は、水道配水用ポリエチレン管(HPE)を使用すること。
※ 鉄鉄製異形管・異形管類には、ポリエチレンリブを被覆すること。
※ メカ形異形管類は、粉体塗装で耐腐蝕金具付とすること。
※ 道路埋設部には、管明シート・管明示テープを布設すること。
※ 曲げ半径の最小半径を表に示す。表中の数値以下の場合はベンドを使用すること。
※ 管割取部の管径に記す(VB)とは垂直方向、(HB)とは水平方向、(CB)とはひねり方向を示す。
※ 既設管径には判定を記して、施工前に照査調査等を確認すること。
※ 水汚染害工事に伴い、下水道管理股を行うものとする。

口径	許容曲げ半径
HPPEφ150	13.5m

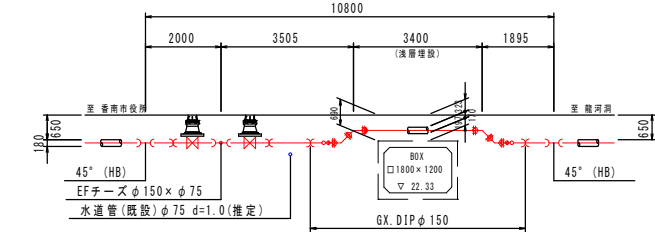
S=NON

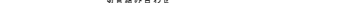


上水第07020号にて施工済。

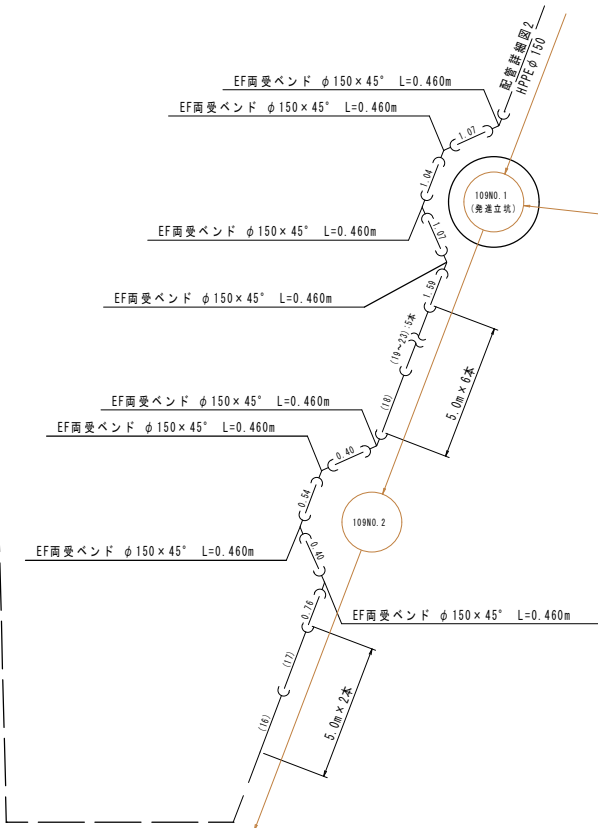


$S=1:100$

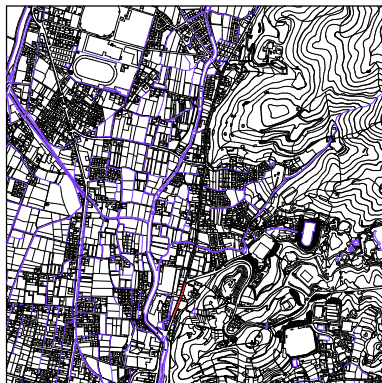


鋳鉄管切管調書											
番号	口径	切管組み合わせ					有効長	預置長	計	切筋	管理
[1]	150						2.891	2.109	5.000	1	5種

明番号	短距離	追加距離
111N0.1		0.0
110N0.2	43.0	43.0
110N0.1	50.0	93.0
109N0.3	14.5	107.5
109N0.2	14.0	121.5
109N0.1	35.0	156.5



S=1:15,000



工事名	上水第08028号 大谷地区下水道事業に伴う配水管布設工事		
図面名	配管詳細図1(1)		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	4 / 7
会社名			
事業者名	香南市上下水道課		

配管詳細図 1 (2)

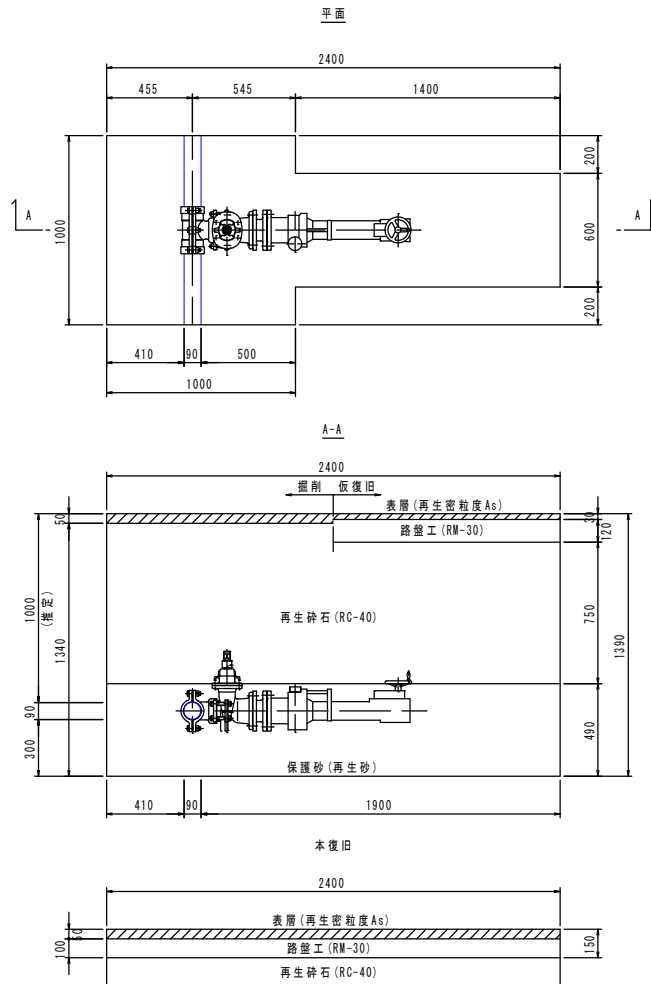
標準掘削断面図

S=1:20

※汚水並列区間の掘削及び復旧については、下水道管渠布設工事で計上する。
※水道単独区間の舗装復旧については、道路管理者及び発注者と協議し決定する。
※県道車道区間の配水管土被りは0.65m、県道歩道及び市道区間について土被り0.60mを標準とする。

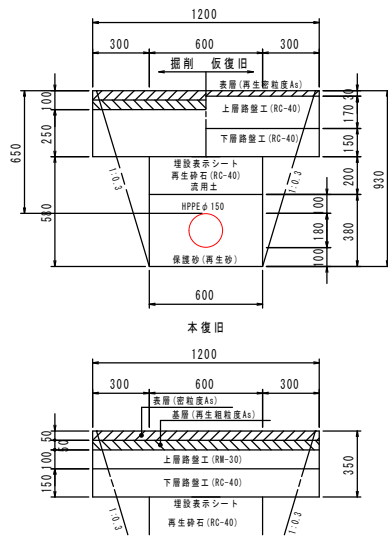
不断水土工断面1

水道单独区間：市道車道AS $d=1.0 \phi 75 \times \phi 75$



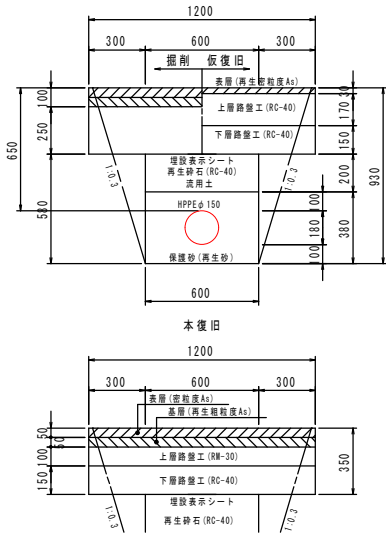
土工断面1

水道单独区间：渠道率道AS(两切) $d=0.65 \phi 150$



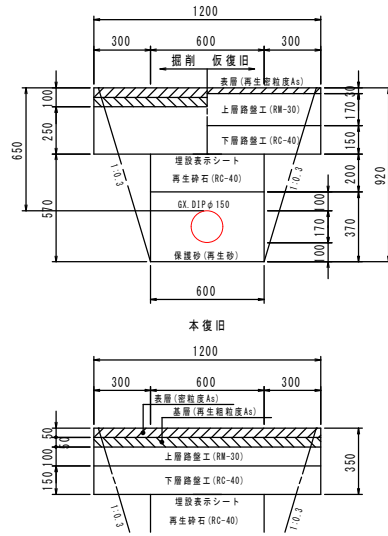
土工断面2

水道单独区間：県道車道AS(両切) $d=0.65 \phi 150$



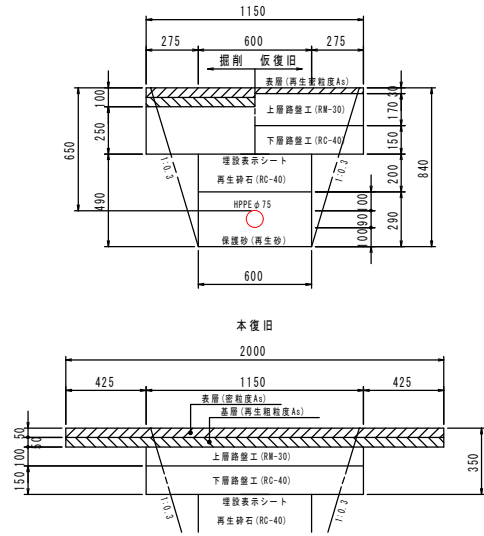
土工断面3

水道单独区間：県道車道AS(両切) $d=0.32 \sim 0.65$ $\phi 150$



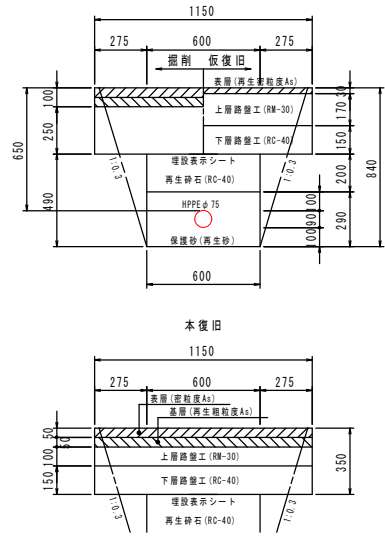
土工断面4

水道単独区間：県道車道AS(両切2回)横断部 $d=0.65 \phi 75$



土工断面5

水道单独区间：県道車道AS(両切) $d=0.65 \phi 75$

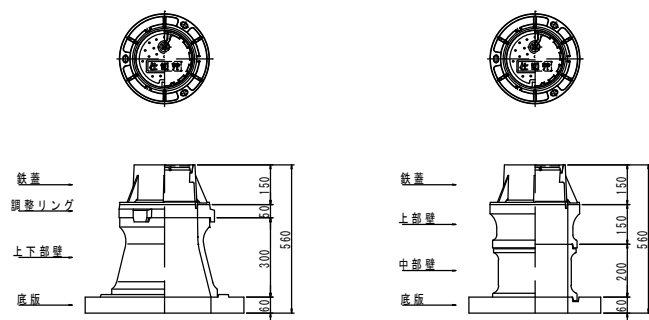


ボックス標準図

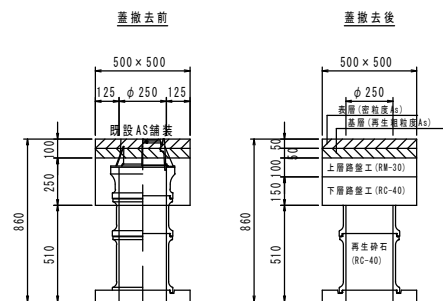
$S=1:10$

仕切弁ボックスφ150 円形1号 d=650用

仕切弁ボックスφ100～φ50 円形1号 d=650～600



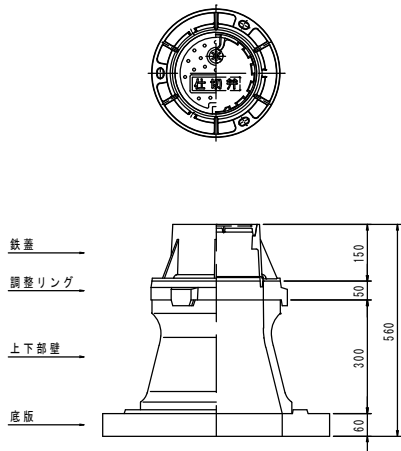
既設仕切弁ボックス蓋撤去(県道車道)



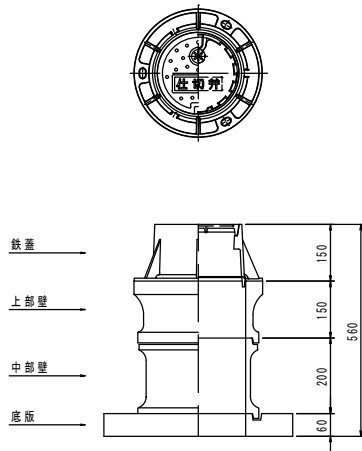
工事名	上水第080228号 大谷地区下水道事業に伴う配水管布設替工事		
図面名	配管詳細図1(2)		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	5 / 7
会社名			
事業者名	香南市上下水道課		

ボックス標準図
S=1:10

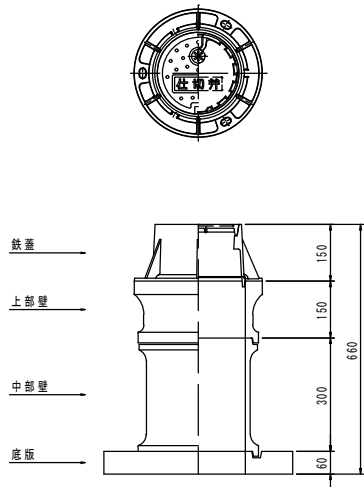
仕切弁ボックス φ150 円形1号 d=650用



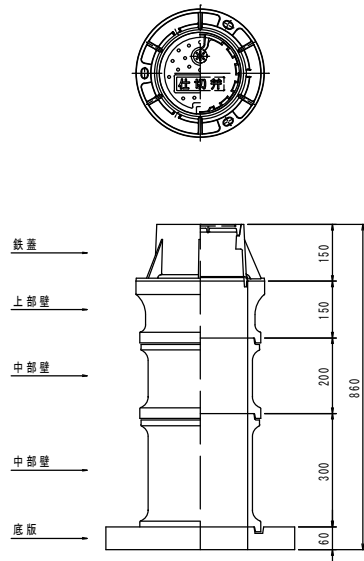
仕切弁ボックス φ100～φ50 円形1号 d=650～600用



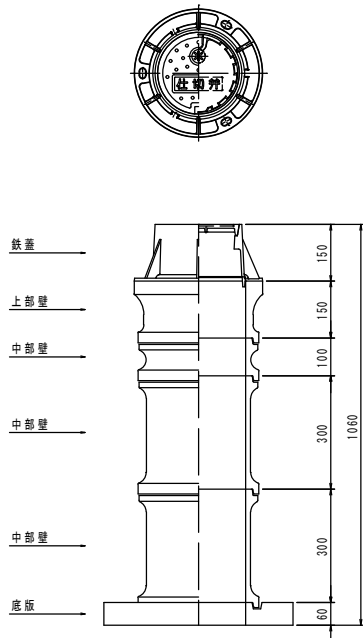
仕切弁ボックス φ100 円形1号 d=800用



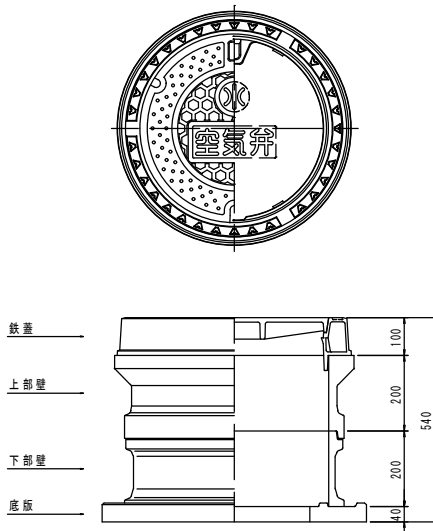
仕切弁ボックス φ75 円形1号 d=1000用



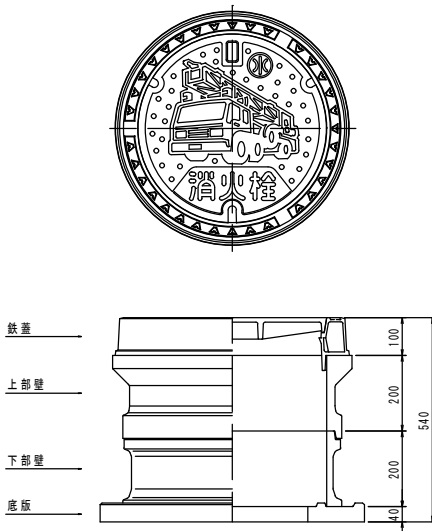
仕切弁ボックス φ100～φ75 円形1号 d=1200用



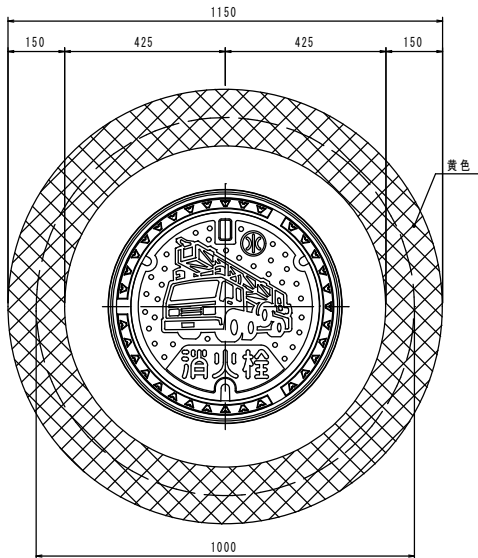
空気弁ボックス (丸型)



消火栓ボックス (丸型)



消火栓標示線参考図
区画線(黄色) W=0.15m L=3.14m



工事名	上水第08028号 大谷地区下水道事業に伴う配水管布設替工事		
図面名	ボックス標準図		
作成年月日			
縮尺	1:10	図面番号	6 / 7
会社名			
事業者名	香南市上下水道課		

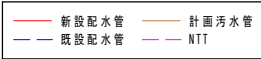
既設管廃止図

※既設管廃止の詳細については、発注者と協議し決定すること。

既設ボックス蓋撤去一覧表		
対象図面	仕切弁	消火栓
配管詳細図1	1	-
配管詳細図2	-	-
配管詳細図3	-	-
配管詳細図4	-	-
配管詳細図5	-	1
配管詳細図6	1	-
配管詳細図7	-	-
配管詳細図8	2	-
配管詳細図9	1	-
合計	5	1

平面図
S=1:1,500

凡例



水道単独工事区間

配管詳細図9

配管詳細図8

配管詳細図7

配管詳細図6

配管詳細図5

配管詳細図4

配管詳細図3

配管詳細図2

配管詳細図1

既設仕切弁ボックス蓋撤去(県道車道)1箇所
既設仕切弁ボックス蓋撤去(県道歩道)1箇所

既設仕切弁ボックス蓋撤去(県道車道)1箇所

既設仕切弁ボックス蓋撤去(市道)1箇所
分岐φ50

既設消火栓ボックス蓋撤去(県道歩道)1箇所

既設仕切弁ボックス蓋撤去(県道車道)1箇所

【廃止】県道、市道埋設：既設配水管φ50

【廃止】県道埋設：既設配水管φ75

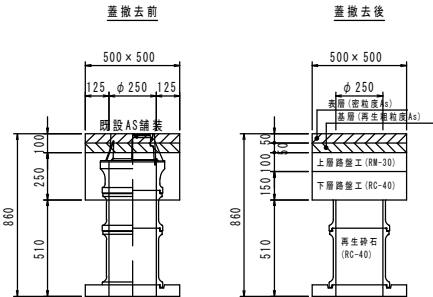
【残置】県道埋設：既設配水管φ75

ボックス蓋撤去標準図

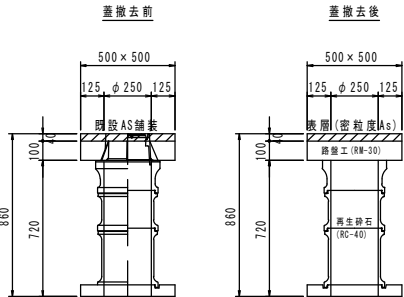
S=1:20

※ボックス蓋撤去後、ボックス内を入替砕石にて完填処理すること。
※片側1車線全幅復旧について、道路管理者及び発注者と協議し決定する。

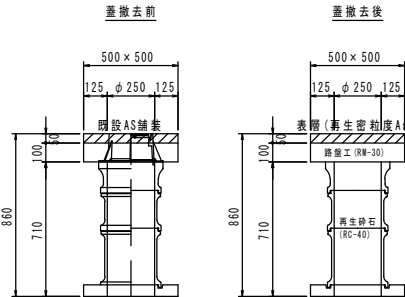
既設仕切弁ボックス蓋撤去(県道車道)



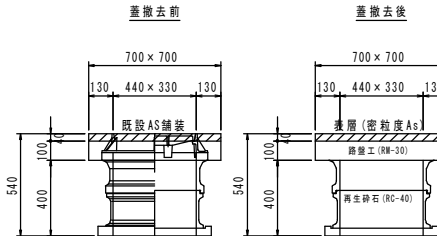
既設仕切弁ボックス蓋撤去(県道歩道)



既設仕切弁ボックス蓋撤去(市道)



既設消火栓ボックス蓋撤去(県道歩道)



工事名	上水第08028号 大谷地区下水道事業に伴う配水管布設替工事		
図面名	既設管廃止図		
作成年月日			
縮尺	1:1,500	図面番号	7 / 7
会社名			
事業者名	晋南市上下水道課		